



Japio-AI翻訳のご紹介



一般財団法人

日本特許情報機構

Japan Patent Information Organization

Copyright © 2021 – 2023 Japan Patent Information Organization



0. 会社概要

1. サービス提供の背景
2. サービスの特徴と内容



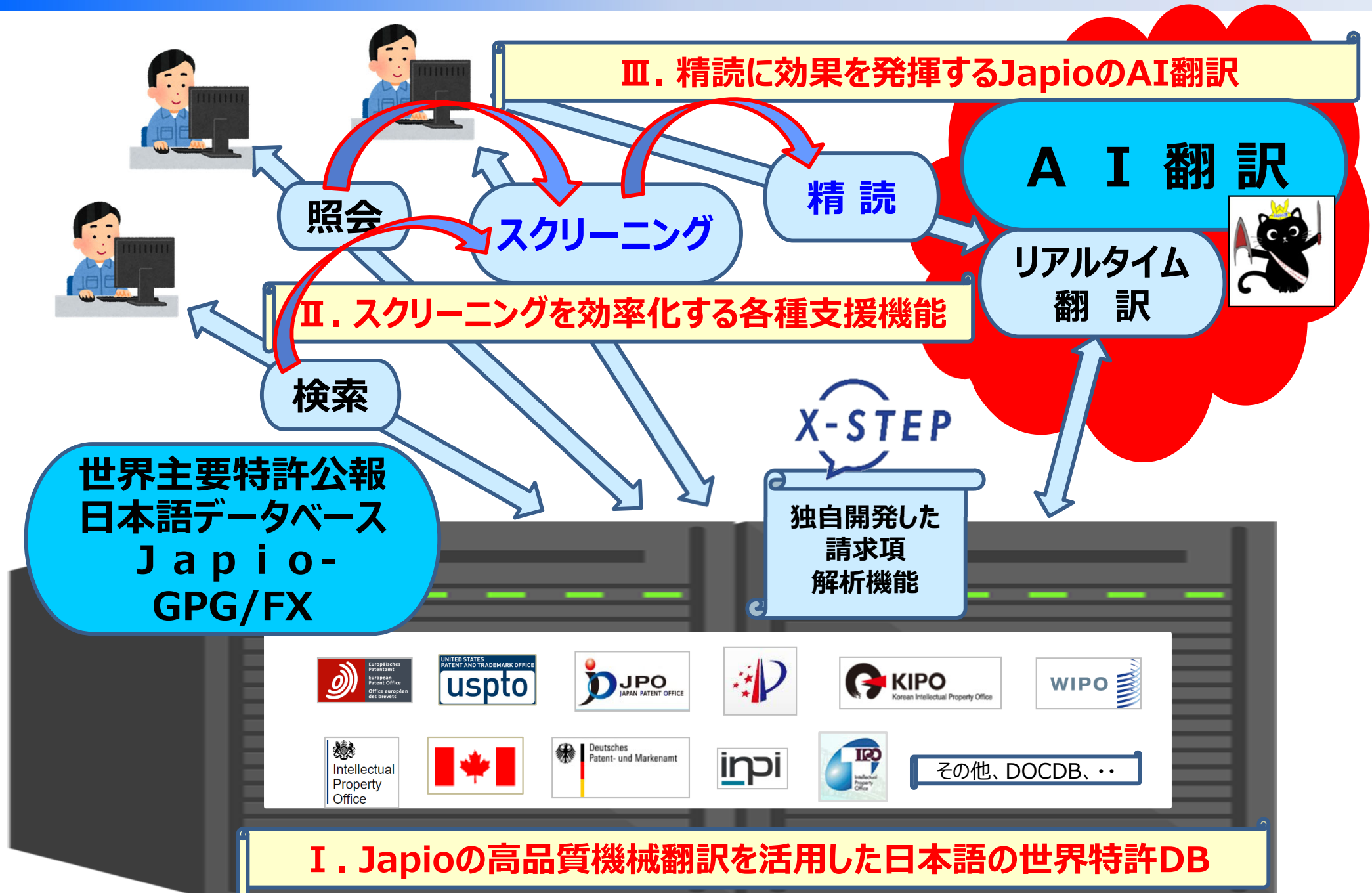
一般財団法人日本特許情報機構(Japio)

- 名 称 一般財団法人 日本特許情報機構
Japan Patent Information Organization (J a p i o)
- 設 立 1 9 8 5 年 8 月 1 日
- 役 員 理事長 近藤 賢二 常勤理事 2 名、非常勤 1 9 名
(監事 2 名含む)
- 沿 革
 - 1971 年 (財) 日本特許情報センター (Japatic) 設立
 - 1978 年 特許情報オンライン検索システム パトリス(PATOLIS)サービス開始
 - 1985 年 (財) 日本特許情報機構 (Japio) 設立
 - 2001 年 民需事業 (パトリスサービス) の民間への営業譲渡
 - 2009 年 9 月 公益法人制度改革の対応として一般財団法人へ移行
 - 2012 年 7 月 Japio世界特許情報検索サービス (Japio-GPG) サービス開始
 - 2014 年 8 月 Japio世界特許情報全文検索サービス (Japio-GPG/FX) サービス開始
 - 2020 年 3 月 Japio-GPG/FXのオプションサービスとして、AI翻訳サービス 開始
 - 2021 年 4 月 Japio-AI翻訳 サービス開始
 - 2022 年 7 月 一般社団法人日本デザイン保護協会と合併



- 0. 会社概要
- 1. サービス提供の背景**
- 2. サービスの特徴と内容

1.1 Japio-GPG/FX の特徴





特許に特化した高精度なAI翻訳機能を提供

(ポイント1) 更に向上した翻訳品質

構文の正確性や流暢さが飛躍的に向上

独自開発の言語資源とノウハウにより、特許特有表現もさらに読みやすく

(ポイント2) 多言語対応

外国語から日本語へ：米国公報、中国公報、台湾公報、ドイツ公報など

日本語から英語へ：日本公報

翻
訳
例

【英語】 2. The AR computing device of claim 1, wherein the AR computing device is further configured to assign an identifier to the first consumer.

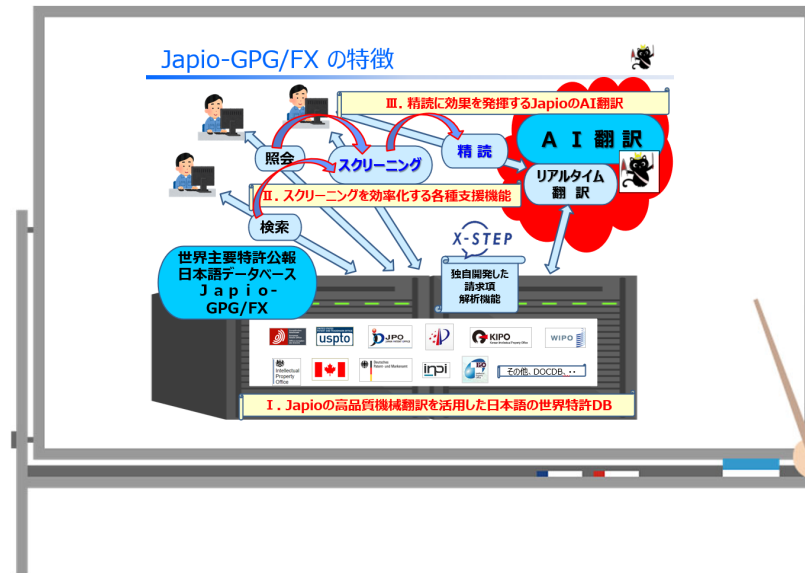
【AI翻訳】 2. ARコンピューティングデバイスは、第1の消費者に識別子を割り当てるようにさらに構成されることを特徴とする請求項1に記載のARコンピューティングデバイス。

【中国語】 并在真空下浓缩，得到产物，用柱层析法(10%MeOH/CHCl₃)纯化产物(89%)。

【AI翻訳】 真空下で濃縮して生成物を得、これをカラムクロマトグラフィー(10% MeOH/CHCl₃)で精製した(89%)。

※ AI翻訳サービスは有料オプションユーザー様へのご提供

1.3 新たなサービスの要望



Japio-GPG/FXのAI翻訳
は海外特許公報の翻訳に
効果を発揮します！

海外特許出願の翻訳に使い
たいから、テキスト入力翻訳が
出来て費用が安いと助かるん
だけどな～

テキスト入力翻訳に特化した
新たな機械翻訳サービスを
提供します！



- 0. 会社概要
- 1. サービス提供の背景
- 2. サービスの特徴と内容**



特許に特化した高精度なAI翻訳機能を活用

(ポイント1) 更に向上した翻訳品質

構文の正確性や流暢さが飛躍的に向上

独自開発の言語資源とノウハウにより、特許特有表現もさらに読みやすく

(ポイント2) 多言語対応

日本語から外国語へ：英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語

外国語から日本語へ：英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語、
ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、
ポルトガル語

(ポイント3) 各種出力に対応（PDF、Excel、txt）

(ポイント4) テキストのハイライト機能により、目的単語を 素早く把握

サービス内容：フリーテキスト翻訳 100万文字/月
料 金：11,000円/月（税込）



- ① 海外特許出願原稿の翻訳
- ② 請求項や明細書の補正案の翻訳
- ③ 公報の特定箇所（実施例など）の翻訳
- ④ 補正書の翻訳

2.3 テキスト入力



- ① 多言語翻訳が選択可能
- ② 「明細書用」「請求項用」の翻訳に対応
- ③ ①、②は、デフォルトでは「自動判定」
- ④ フリーテキストを入力し、**最大10万文字**まで翻訳可能

Japio-AI翻訳

マニュアル ヘルプ ログアウト
今月翻訳文字数：846/1,000,000
残 999,154

テキスト入力 公報番号入力

翻訳方向： ☒ 自動判定 ☐ 英語 ⇒ 日本語 ☐ 中国語（簡体字） ⇒ 日本語 ☐ 中国語（繁体字） ⇒ 日本語 ☐ 韓国語 ⇒ 日本語
☐ ドイツ語 ⇒ 日本語 ☐ フランス語 ⇒ 日本語 ☐ スペイン語 ⇒ 日本語 ☐ ロシア語 ⇒ 日本語
☐ ポルトガル語 ⇒ 日本語
☐ 日本語 ⇒ 英語 ☐ 日本語 ⇒ 中国語（簡体字） ☐ 日本語 ⇒ 中国語（繁体字） ☐ 日本語 ⇒ 韓国語

翻訳モード： ☒ 自動判定 ☐ 明細書用 ☐ 請求項用

【技術分野】
本発明は、道路に設置されて、道路上の歩行者や車両が保持する端末装置と通信を行う路側装置、および端末装置同士の間で行われる端末間通信の輻輳を回避する通信輻輳制御方法に関するものである。

【背景技術】
近年、ITS（Intelligent Transport System：高度道路交通システム）を利用した安全運転支援無線システムが実用化されている。また、近年、自動運転車の走行を支援する自動走行システムの実用化に向けた検討が進められており、特に自動走行システムにITS通信を適用するための検討も行われている。このような自動走行システムにITS通信を適用する場合、ITS通信に輻輳が発生すると、自動運転車の通行を適切に支援することができなくなるという問題がある。

一方、車両の通行を支援する技術として、交差点ごとに設置された複数の路側機を連携させて、緊急車両の接近および移動方向に関する情報を路側機間でリレーすることで、緊急車両の接近を、広範囲に存在する車両に対して通知する技術が知られている。

また、路側機の通信エリアにおける通信輻輳を回避する技術として、路側機の通信エリアの上流側に設置された軸重センサで検出された車両の通行状況に基づいて、通信エリアに進入する車両の台数、すなわち、車載端末の台数を予測して、通信輻輳を回避するための制御を行う技術が知られている。

【発明が解決しようとする課題】
しかしながら、特許文献1に開示された技術では、自動運転車が接近することを通知するだけであり、自動運転車の周辺で発生する通信輻輳を回避することはできない。また、特許文献2に開示された技術では、街路に多数ある交差点に軸重センサを設置するために莫大な費用がかかり、街路の交差点における通信輻輳の実用的な解決策とはならない。

そこで、本発明は、街路の交差点におけるITS通信の輻輳を確実に回避して、自動運転車の通行を適切に支援することができる路側装置および通信輻輳制御方法を提供することを主な目的とする。

翻訳開始 クリア

入力文字数：846/100,000

今月の翻訳文字数ならびに
残数が表示されます。

入力文字数が表示されます。

2.4 テキスト翻訳



- ① 原文テキストと翻訳文テキストを改行毎に表示
- ② Excelのほか、PDF(原文あり)、PDF(訳文のみ)、txtファイルで出力できます。

Japio-AI翻訳

マニュアル 訳条件入力へ戻る ログアウト

実行した翻訳方向ならびに翻訳モードが表示されます。
このケースでは、「日本語」→「英語」、「明細書モード」

②

①

日本語から英語へ、明細書モードにて翻訳した結果を表示します。

原文表示 再翻訳
Excel 出力

原文	訳文
【技術分野】 本発明は、道路に設置されて、道路上の歩行者や車両が保持する端末装置と通信を行う路側装置、および端末装置同士の間で行われる端末間通信の輻輳を回避する通信輻輳制御方法に関するものである。	[Technical Field] The present invention relates to a roadside apparatus which is installed on a road and communicates with a pedestrian on the road or a terminal device held by a vehicle, and a communication congestion control method which avoids congestion of inter-terminal communication performed between the terminal devices.
【背景技術】 近年、ITS (Intelligent Transport System : 高度道路交通システム) を利用した安全運転支援無線システムが実用化されている。また、近年、自動運転車の走行を支援する自動走行システムの実用化に向けた検討が進められており、特に自動走行システムにITS通信を適用するための検討も行われている。このような自動走行システムにITS通信を適用する場合、ITS通信に輻輳が発生すると、自動運転車の通行を適切に支援することができなくなるという問題がある。	[Background of the Invention] In recent years, a safe driving support wireless system using ITS (Intelligent Transport System: Advanced Radio Transfer System) has been put to practical use. In recent years, studies toward practical use of an automatic driving system that supports driving of an automatic driving vehicle have been made, and in particular, studies for applying ITS communication to an automatic driving system have also been made. When the ITS communication is applied to such an automatic driving system, if congestion occurs in the ITS communication, there is a problem in that the traffic of the automatic driving vehicle cannot be appropriately supported.
一方、車両の通行を支援する技術として、交差点ごとに設置された複数の路側機を連携させて、緊急車両の接近および移動方向に関する情報を路側機間でリレーすることで、緊急車両の接近を、広範囲に存在する車両に対して通知する技術が知られている。	On the other hand, as a technique for supporting traffic of a vehicle, there is known a technique in which a plurality of road-side machines installed at respective intersections are linked to relay information related to approaching and moving directions of emergency vehicles between road-side machines, thereby informing the vehicles existing in a wide range of approaching of emergency vehicles.
また、路側機の通信エリアにおける通信輻輳を回避する技術として、路側機の通信エリアの上流側に設置された軸重センサで検出された車両の通行状況に基づいて、通信エリアに進入する車両の台数、すなわち、車載端末の台数を予測して、通信輻輳を回避するための制御を行う技術が知られている。	As a technique for avoiding communication congestion in a communication area of a roadside apparatus, there is known a technique for performing control for avoiding communication congestion by predicting the number of vehicles entering the communication area, that is, the number of in-vehicle terminals, based on a traffic condition of the vehicle detected by an axis weight sensor installed upstream of the communication area of the roadside apparatus.
また、路側機の通信エリアにおける通信輻輳を回避する技術として、路側機の通信エリアの上流側に設置された軸重センサで検出された車両の通行状況に基づいて、通信エリアに進入する車両の台数、すなわち、車載端末の台数を予測して、通信輻輳を回避するための制御を行う技術が知られている。	As a technique for avoiding communication congestion in a communication area of a roadside apparatus, there is known a technique for performing control for avoiding communication congestion by predicting the number of vehicles entering the communication area, that is, the number of in-vehicle terminals, based on a traffic condition of the vehicle detected by an axis weight sensor installed upstream of the communication area of the roadside apparatus.
【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、特許文献1に開示された技術では、自動運転車が接近することを通知するだけであり、自動運転車の周辺で発生する通信輻輳を回避することはできない。また、特許文献2に開示された技術では、街路に多数ある交差点に軸重センサを設置するために莫大な費用がかかり、街路の交差点における通信輻輳の実用的な解決策とはならない。	[Problem to be solved by the invention] However, the technology disclosed in PTL 1 can only notify that the motorcycle is approaching, and communication congestion occurring around the motorcycle cannot be avoided. Also, the technology disclosed in PTL 2 requires enormous costs to install the axis sensor at many intersections in the street, and is not a practical solution to communication congestion at intersections in the street.
そこで、本発明は、街路の交差点におけるITS通信の輻輳を確実に回避して、自動運転車の通行を適切に支援することができる路側装置および通信輻輳制御方法を提供することを主な目的とする。	Accordingly, it is a main object of the present invention to provide a roadside apparatus and a communication congestion control method capable of reliably avoiding congestion of ITS communication at an intersection of streets and appropriately supporting passage of an automatic driving vehicle.

2.5 キーワードハイライト表示



- ① ハイライト用語の指定、ハイライトカラーの変更が可能
- ② ハイライト用語指定時にスペクトルバーを表示
- ③ 指定したスペクトルバーの位置に表示画面が移動

①

Japio-AI翻訳

マニュアル ヘルプ 翻訳条件入力へ戻る ログアウト

☑原文表示 再翻訳
Excel 出力

日本語から英語へ、明細書モードにて翻訳した結果を表示します。

原文	訳文
【技術分野】	[Technical Field]
本発明は、道路に設置されて、道路上の歩行者や車両が保持する端末装置と通信を行う路側装置、および端末装置同士の間で行われる端末間通信の輻輳を回避する通信輻輳制御方法に関するものである。	The present invention relates to a roadside apparatus which is installed on a road and communicates with a pedestrian on the road or a terminal device held by a vehicle, and a communication congestion control method which avoids congestion of inter-terminal communication performed between the terminal devices.
【背景技術】	[Background of the Invention]
近年、ITS (Intelligent Transport System: 高度道路交通システム) を利用した安全運転支援無線システムが実用化されている。また、近年、自動運転車の走行を支援する自動走行システムの実用化に向けた検討が進められており、特に自動走行システムにITS通信を適用するための検討も行われている。このような自動走行システムにITS通信を適用する場合、ITS通信に輻輳が発生すると、自動運転車の通行を適切に支援することができなくなるという問題がある。	In recent years, a safe driving support wireless system using ITS (Intelligent Transport System: Advanced Radio Transfer System) has been put to practical use. In recent years, studies toward practical use of an automatic driving system that supports driving of an automatic driving vehicle have been made, and in particular, studies for applying ITS communication to an automatic driving system have also been made. When the ITS communication is applied to such an automatic driving system, if congestion occurs in the ITS communication, there is a problem in that the traffic of the automatic driving vehicle cannot be appropriately supported.
一方、車両の通行を支援する技術として、交差点ごとに設置された複数の路側機を連携させて、緊急車両の接近および移動方向に関する情報を路側機間でリレーすることで、緊急車両の接近を、広範囲に存在する車両に対して通知する技術が知られている。	On the other hand, as a technique for supporting traffic of a vehicle, there is known a technique in which a plurality of road-side machines installed at respective intersections are linked to relay information related to approaching and moving directions of emergency vehicles between road-side machines, thereby informing the vehicles existing in a wide range of approaching of emergency vehicles.
また、路側機の通信エリアにおける通信輻輳を回避する技術として、路側機の通信エリアの上流側に設置された軸重センサで検出された車両の通行状況に基づいて、通信エリアに進入する車両の台数、すなわち、車載端末の台数を予測して、通信輻輳を回避するための制御を行う技術が知られている。	As a technique for avoiding communication congestion in a communication area of a roadside apparatus, there is known a technique for performing control for avoiding communication congestion by predicting the number of vehicles entering the communication area, that is, the number of in-vehicle terminals, based on a traffic condition of the vehicle detected by an axis weight sensor installed upstream of the communication area of the roadside apparatus.
また、路側機の通信エリアにおける通信輻輳を回避する技術として、路側機の通信エリアの上流側に設置された軸重センサで検出された車両の通行状況に基づいて、通信エリアに進入する車両の台数、すなわち、車載端末の台数を予測して、通信輻輳を回避するための制御を行う技術が知られている。	As a technique for avoiding communication congestion in a communication area of a roadside apparatus, there is known a technique for performing control for avoiding communication congestion by predicting the number of vehicles entering the communication area, that is, the number of in-vehicle terminals, based on a traffic condition of the vehicle detected by an axis weight sensor installed upstream of the communication area of the roadside apparatus.
【発明が解決しようとする課題】	[Problem to be solved by the invention]
しかしながら、特許文献1に開示された技術では、自動運転車が接近することを通知するだけであり、自動運転車の周辺で発生する通信輻輳を回避することはできない。また、特許文献2に開示された技術では、街路に多数ある交差点に軸重センサを設置するために莫大な費用がかかり、街路の交差点における通信輻輳の実用的な解決策とはならない。	However, the technology disclosed in PTL 1 can only notify that the motorcycle is approaching, and communication congestion occurring around the motorcycle cannot be avoided. Also, the technology disclosed in PTL 2 requires enormous costs to install the axis sensor at many intersections in the street, and is not a practical solution to communication congestion at intersections in the street.

②

③

ハイライト表示した用語の位置を明示するので、目的単語を素早く把握

- 14



- **原文非表示機能**

原文を非表示とし、翻訳文のみが表示でき、翻訳文のみのコピー & ペーストが簡単になります。

- **翻訳中断時のファイル出力**

「中断ボタン」により翻訳を途中で中断した場合でも、ファイル出力が可能になります。

- **ハイライトの引継ぎ**

翻訳時にある用語に対してハイライト指定を行った場合、次の翻訳時も同じ用語でのハイライトが維持されます。ハイライト指定は最大30日保存されます。

- **同一文献の再翻訳（有料オプションサービスにおいて）**

最初の翻訳から2週間以内であれば、翻訳結果を保存しています。したがって、その期間内で同一ユーザが同一文献を再度翻訳した場合、最初の翻訳結果を瞬時に表示することが可能になります。なお、改めて翻訳したい場合は、「再翻訳ボタン」の操作によって可能になります。

2.8 サービス比較※



	Japio –AI翻訳	Japio –AI翻訳 (無料版)	Japio-GPG/FX オプション
翻訳 言語	➤ 英・中・台・韓・独・ 仏・露・西・ 葡 => 日 ➤ 日=> 英・ 中・台・韓	➤ 英・中・台・韓・独・ 仏・露・西 => 日 ➤ 日=> 英	➤ 英・中・台・韓・独・ 仏・露・西・ 葡 => 日 ➤ 日=> 英
機能	➤ テキスト翻訳 (100万文字/月/ID) ➤ 公報翻訳 (有料オプション) (50件/月/ID)	➤ テキスト翻訳 (上限200文字)	➤ テキスト翻訳 (1回10万文字) ※月単位の制限無 ➤ 公報翻訳 ※月単位の制限無
ユーザ 登録	➤ 必要	➤ 不要	➤ 必要



利用料金

利用料金は、**1IDあたりの月額料金（税込）** になります。
(契約期間は年間契約になります)

・基本料金 : 11,000円/月

【オプションサービス】

・公報翻訳サービス : 3,300円/月

ありがとうございました

お問合せ先

一般財団法人 日本特許情報機構 サービス窓口 03-3615-5510 service@japio.or.jp



Japio-AI翻訳